

取扱い上の注意

温度・圧力

- ホースは、使用温度範囲内及び最高使用圧力以下でご使用ください。最高使用圧力以下でご使用されない場合、流体漏れ、ホース抜け、ホース破裂等の原因となります。
- 糸入り耐圧マークのないホースでの止水を伴う使用はしないでください。

流体

- ホースは使用できる流体をご確認の上で使用ください。使用できない流体を誤って使用されますと、溶解、破裂により人体への危険性や物的損害に至る場合があります。使用する流体でご不明な点がありましたら、事前に必ずご相談ください。
- 一部商品を除き、飲料水及び食品関係の用途には適しておりません。ホースの臭気が水に移り、不快感から二次被害に発展する場合があります。

ホースの取付け

- ホースを無理に曲げた状態や、ねじれた状態で使用しないでください。ホースの破裂事故や破損の原因となります。
- ホースをニップルに接続する場合は根元まで挿入してください。

金具の取付け

- ホース内面を切るような鋭利な金具、又はニップル表面に傷や錆のある金具は使用しないでください。ホース破裂事故やホース抜けの原因となります。
- ニッブルの竹の子部分にホースを差し込む際は、ホースやニッブルの竹の子部分に油類を付けたり、火であぶったりしないでください。ホース抜け事故の原因となります。差し込みにくい場合は、ぬるま湯でホースをあたためてから差し込んでください。
- ホースのニップルへの固定は、ホースバンドをニッブル竹の子部分の中央部に位置するように締め付けてください。又、ホースバンドを締め付ける際はバンドの規定のトルクで締め付けてください。過度の締め付けはホースを傷つけ破裂事故などの原因となります。
- ホースバンドの代わりに針金等で過剰にホースを締め付けしないでください。ホースを傷め破裂の原因となります。
- ホースバンドは適宜に増し締めをしてください。特に、高温時にはホースが軟化しますのでご注意ください。
- ホースバンドの取り外しの際に、ハンマー等でホースに衝撃を加えないでください。ホースを傷つけ破裂などの原因となります。
- チューブ用ワンブッシュ金具は使用しないでください。ホースが破裂する恐れがあります。
- ホースを金具にアッセンブリー後、樹脂の永久歪みにより、流体漏れ、金具抜け、ホースの破裂を引き起こす場合がありますので、金具タイプとホース材質特性につきましてはご相談ください。
- 弊社ブレードホースはエアー専用ホースの様なブリッキング加工を施しておりません。アマック継手等密閉性の高い継手の使用はホースの破壊の原因となります。

使用上の注意

- 加圧時のバルブ開閉操作はゆっくり行い、衝撃圧がかからないようにしてください。
- ホースはねじったり、折れ曲がった状態で使用しないでください。
- 始業前点検の上で使用ください。又、一ヶ月に一度必ず定期点検を実施してください。点検の中で異常が認められた場合は直ちに使用を中止し、新しいホースと交換してください。

- | | |
|------------|---------------------------------------|
| 1. 金具付近の異常 | 3. 内層と外層の剥離(ハクリ) |
| 2. 外傷の有無 | 4. その他、変化が著しい場合(硬化、軟化、膨油、ひび割れ、膨れ、変色等) |

- 裸火や溶接の火花、加熱された金属等に直接ふれたり近づけたりしないでください。

保管上の注意

- 直射日光の当たらない湿度の低い風通しのよい場所に水を抜いて保管してください。
- 極端に曲げた状態で保管しないでください。
- 使用後は、元栓を締め内圧を抜き、なるべく残留物がないようにしてください。特に、元栓を開いたまま放置されますと流体漏れ事故の原因となる場合がありますので、必ずお守りください。
- 在庫、保管の際はホースを大量に積み上げないでください。

廃棄上の注意

- 絶対に燃やさないでください。
- それぞれの地域の分別処理に従って廃棄してください。

※製品改良のため、予告なしに色彩や規格の一部を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。